

スcoop!!

齋藤さんご一家、 現モンゴル首相と20年ぶりの再会



モンゴル国
人口:286.8万人
面積:156万4,100km²
首都:ウランバートル



▲左から齋藤さんご長男、奥様、首相、齋藤さん、首相奥様、齋藤さんご長女

去る9月11日、国賓として来日されたモンゴルのノロブ・アルタンホヤグ首相が、20年前に外務省招へい団の一員として来日した際にホームステイされた、齋藤実さんご一家(多摩区在住)と都内で再会を果たされました。

今回の再会は、来日前からどうしても齋藤さんご一家と会いたいという首相の強いご希望で実現。歓談の席では、齋藤さんご一家が入室するなり立ち上がり、「会いたかったです」と満面の笑顔で抱き合う姿が見られました。

ホームステイは1泊だったそうですが、その後齋藤さんご夫婦がモンゴル旅行をされた際には、観光案内をしてくださり、ご実家ではご家族が「ボーズ」という手作りの蒸し料理をふるまって下さったとのことでした。歓談で、その当時のことやホームステイの時のなつかしい思い出を楽しく話される様子は、モンゴル首相と日本人のホストファミリーというだけでなく、国境を越えたなじみの友といった、あたたかい雰囲気に包まれていました。

ホストファミリー・ 齋藤さんご一家のご感想

8月末、川崎市国際交流協会から、モンゴル首相の知らせを受けてから再会までの間、気持ちが高ぶって、嬉しい半面どんなふうだろうという不安もありました。歓談会場に入る時は物々しい行列の中をくぐって行く有様で、戸惑いを隠せませんでした。

ところが、実際首相にお会いしてみると、周囲の方々のことなど気にならず、20年前の彼と接しているような感覚で話ができ、懐かしさが込みあげてきました。首相も以前のことをよく覚えてくださっているようで、とても嬉しく思いました。また、モンゴルの首相がいかに気さくに接して下さったことに安堵し、感激の対面が出来ました。

我が家にとっては、大変名誉なこと、一生忘れることはないでしょう。ホストファミリーをしていて本当に良かったと思いました。交流協会が架け橋となって、今回の再会が叶えられたことに心から感謝いたします。ありがとうございました。(文:齋藤家族)

『キムジャン』シーズンの到来

(公財)川崎市国際交流協会
韓国・朝鮮語相談員:高橋慶子



안녕하세요 (アンニョン・ハセヨ)

今年4月から、川崎市国際交流センターで、韓国・朝鮮語の相談業務を担当しています。隣の国、韓国・ソウルから来ました。

韓国と言えば、キムチを連想する方も多いのではないでしょうか。韓国では、毎年11月から12月にかけて、「キムジャン(キムチを漬ける、韓国の年中行事のひとつ)」のシーズンが来ます。どの家庭でも大々的に行われる行事で、会社から「キムジャンボーナス」まで出るほどです。キムジャンでは、長い冬の間食べ続けられるよう大量のキムチを漬け込むので、近所の主婦たちが集まってみんなで作ります。キムチ作りの後は、ごはんを食べながら楽しいひと時を過ごす、あたたかもお祭りのような1日です。

ここでは、いつでも手軽にサラダ感覚で食べられて、誰でも作れる即席「オイキムチ(キュウリ)」をご紹介します。今晚の夕食に、試してみたいいかがですか。



材 料

キュウリ…5本、大根…1/3本、人参…1/3本、ニラ…1/2束
調味料 鰹のエキス(またはだし汁)…1/2カップ、塩…少々、
りんご(すりおろし)…1/2個、んにく…1かけ、粉唐辛子…大さじ3

1 キュウリは3等分し、十文字の切り目を入れて塩もみする。大根と人参は千切り、ニラは3センチに切る。

2 切った材料を調味料と混ぜ、キュウリに詰めれば完成。

(文・写真提供:高橋慶子相談員)